

# 第12回授業力・教師力向上のための夏季研修講座ご案内

3団体共催：大分大学教育学部附属教育実践総合センター  
実践センター教育実践研究会 大分県学校心理士会

夏季研修講座を標記のとおり開催いたします。ぜひともご参加いただきますようご案内申し上げます。

◆ 日時：平成29年7月31日(月) 10:00～13:00

◆ 場所：会場1では講師による講座を、会場2においてはそれを遠隔中継します。



会場1:大分大学(王子キャンパス)教育学部附属教育実践総合センター

※会場の都合上、先着40名までとさせていただきます。

会場2:大分大学(旦野原キャンパス) 教職大学院 院生室(教育学部B棟 2階)

※会場の都合上、先着10名までとさせていただきます。



◆ 対象：子どもの主体的・対話的で深い学びを実現したい現職教員、それを志す学生。  
学校心理士

◆ 内容

10:00 開会

10:10 ワークショップ

テーマ：「学び」とは何か — 進化し続ける学びを求めて

講師 大分大学教育学部 准教授 渡邊 和志  
(附属教育実践総合センター)

講師プロフィール：愛媛県公立小中学校教員として38年間勤務。その間、中学校教頭、小学校校長、愛媛県教育委員会事務局指導主事、管理主事、今治市教育委員会学校教育課長を歴任。平成28年度より大分大学教育学部准教授。現在に至る。  
専門分野：授業研究を中心とする教育学。「再生刺激法」の研究開発者。

趣旨(講師の先生から)：

子どもは、授業を通して多くのことを学びます。同時に、教師も子どもから多くのことを学んでいます。それぞれ学んだ知識がいくら豊かであっても、断片的な知識の寄せ集めであれば、新たな知識を創造するシステムとしては機能しません。「学び」は、知識を並びかえたり関係づけたりしながら、自らの力で新たなシステムを次々と構築していくダイナミックな営みだと考えます。そのために、教師は何を手がかりに、どういった授業を行えばいいのでしょうか。このことを、実際に教科書を使って試したり、内容を見直したりしながら、子どもの「学び」、教師の「学び」について考えてみたいと思います。

12:00 会食・情報交換      コーディネーター 大分大学教育学部 教授 佐藤 晋治  
(附属教育実践総合センター)

ワークショップを踏まえてお弁当を食べながら子どもの主体的・対話的で深い学びの実現に向けて情報交換しませんか？ ※お弁当を注文された方はお弁当代(1,000円予定)を当日徴収します。

13:00 閉会

◆ 参加申し込み

参加を希望される方は、7月24日(月)までに次の宛先へ申し込んでください。

E-mail：[jissenc@oita-u.ac.jp](mailto:jissenc@oita-u.ac.jp) または Fax：097-543-4936

(担当：附属教育実践総合センター 辻本)

## 夏季研修講座 参加申込書

申込代表者 \_\_\_\_\_

所属 \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

参加者	参加会場に○をつけて下さい。		
	会場1(王子キャンパス)	お弁当申込	会場2(旦那原キャンパス)
1		有・無	
2		有・無	
3		有・無	
4		有・無	
5		有・無	
6		有・無	
7		有・無	
8		有・無	
9		有・無	
10		有・無	
11		有・無	
12		有・無	
13		有・無	
14		有・無	
15		有・無	

※お弁当の申込は会場1(王子キャンパス)に参加される場合のみです。